令和8年度　佐佐木信綱記念館特別展

信綱と女流歌人たち



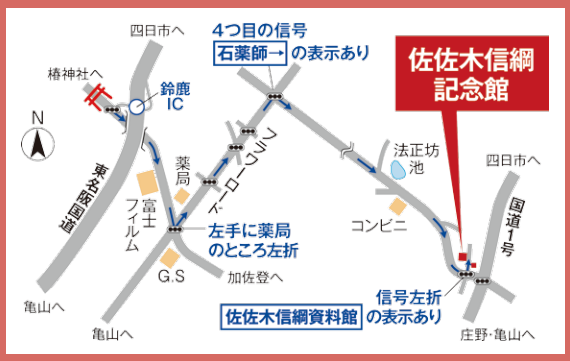
左が信綱。前列左から雪子夫人、九條武子。後列右から2番目が柳原白蓮（椿山荘にて）

佐佐木信綱記念館　2026 11/11(水)▶2027 1/24(日)

入館無料

開館時間：10:00～16:00

休館日：月、火、第3水曜日（ただし、11月23日（月・祝）は開館）



住　　所　〒513-0012 三重県鈴鹿市石薬師町1707-3
電　　話　059-374-3140（佐佐木信綱記念館）
アクセス　近鉄鈴鹿市駅からC-BUSにて佐佐木記念館下車徒歩約2分
　　近鉄四日市駅から三重交通バスにて佐々木記念館下車徒歩約3分
　　東名阪自動車道 鈴鹿ICから車で約20分
主　　催　鈴鹿市
助　　成　公益財団法人　岡田文化財団
問合せ先　鈴鹿市文化スポーツ部文化財課　TEL：059-382-9031

令和8年度
佐佐木信綱記念館特別展
「信綱と女流歌人たち」



竹柏会　機関紙『心の花』

佐佐木信綱は、短歌結社「竹柏会（ちくはくかい）」を結成し、明治31（1898）年に創刊した『心の花』を機関紙として、多くの門人を育成するなど、短歌の普及に大きな足跡を残しました。

本展では、竹柏会を代表する女流歌人の中から、橘糸重、大塚楠緒子、片山廣子、柳原白蓮、九條武子の5人に焦点を当て、彼女たちの歌集や信綱に宛てた書簡などを通して、深い師弟関係を紐解きます。あわせて、短歌革新運動の時代をともに歩んだ樋口一葉や与謝野晶子との交流を示す資料も紹介します。

資料を通して、独自の歌風をもつ多くの女流歌人を輩出し、門下の指導に全力を注いだ「優れた指導者」としての信綱の新たな一面を知っていただければ幸いです。


華族会館における竹柏会大会　『竹柏華葉』より転載


九條武子　信綱宛書簡


柳原白蓮　短冊
おもひきや月も流転のかげそかし
わかこしかたに何をなげかむ　白蓮


片山廣子　短冊
つきなみのものうき世かな尉とうば
竹のはうきにいつも落葉はく　ひろ子

展示説明会

学芸員による展示説明会を開催します。
お気軽にご参加ください。

日　　時：11月27日（金）13:30～
場　　所：佐佐木信綱記念館　展示室
参 加 費：無料・申込不要
所要時間：30分程度